

6月県議会が開会

541億円の補正予算案

6月県議会は23日開会し、先立って18日には議会に予算内示が行われました。

大きな特徴は、増額補正約541億円となっており、結果的に予算規模も投資的経費も前年比プラスで、近年にない大型の補正予算となった点です。

その要因は、吉村美栄子知事となり、当初予算で留保されていた分が肉付けされて提出されたこと、そしてなにより、国補正の財政出動による交付金や基金の新設・追加などによるものが大きくなっています。

最上川の世界遺産登録事業は見直しの方向が示されていますが、今回中止することとし、事業費1700万円が削減されました。世界遺産新規登録が絞られハードルが高くなっていることや、県内市町村のアンケートによる

意向確認などをと、判断されたものです。一方、最上川の「重要な文化的景観の選定」(文化庁)に向けた取り組みは、「山形の宝」育成事業として実施していくことが示されました。

国の補正では各種基金が用意されましたが、詳細はこれからのものも多く、6月県議会では5つの基金について追加や新設が提案されています。

9月県議会でも、かなりの補正になる可能性があります。日本共産党県議団は、いっそう県民要望を届けていきたいと考えています。

景気対策 県民要望反映も

大型の補正予算となっており、各分野にわたって見込みが、大きな割合を占めているのは、道路・橋などの整備、防災にかかわる公共事業となつていきます(鶴岡市・七五三掛地区の地滑り対策は6月補正分は8億円となつ

ていますが、国・県合わせて25億円程度は見込まれています。また、意欲ある農村漁業者等に対する自由度の高いオーダーメイド型支援2億円余りが創設されました。

福祉分野では、社会福祉施設支援のた

7月7日(火)
午前11時20分～

**笹山県議団長が
予算委員会で質問します**

7月6日(火)8日は予算特別委員会が開かれ、日本共産党県議団から笹山一夫県議団長が質疑に立ちます。

7日(火)の2番目、11時20分ころからの予定です。どぞ傍聴においでください。

核のない世界へ 平和行進に参加



【写真】核兵器廃絶を訴え元氣に行進するゆり子県議(左端)、佐藤薬院比例候補(前列中央) = 16日、山形市

会補正予算案、57億5700万円追加)が行われており、プランの一日も早い達成が望まれています。

今回の展示は庄内と山形の2会場で行われ、無言館館長の窪島誠一郎氏の講演もあります。ぜひ足を運んで、「絵」と対面し、出征前の若者の残した言葉を感ずってください。

県民のくらしを支える
思いきった施策を

世界遺産登録事業を中止

創設し、前知事の時代に85%に引き下げられた利子補助を、100%に復活するとしています。福祉団体の要望が反映されたものです。

子育て中の母親や新日本婦人の会が要望していた「県立子ども館」の駐車場利用無料化についても、1時間無料の予算が計上されました。

雇用対策の現状は？

「雇用創出1万人プラン」の進捗状況について明らかにしました。

5月末現在、市町村雇用基金創出分553人を含めて、雇用創出人数は2686人で、26.9%の進捗率となっています。

また、ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し

た公募型雇用創出事業は149件の応募があり、検討した結果、55事業を採択し、事業費3億9000万円、1226人の雇用を見込んでいます。

現在、職業訓練中の方もおり、県では年度内に1万人の目標達成を目指しています。国の補正で緊急雇用創出事業臨時特別基金の追加(6月県議



2009年6月28日
第69号
発行
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子
〈連絡先〉
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241
自宅:山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

「祈りの絵」展を見てください!

現在、戦没画学生遺作「祈りの絵」展の取り組みが、実行委員会の手で進められています。

長野県の「無言館」に収集された遺作・遺品の中から150点が公開されます。

かなり以前に山形で開かれた時に見に行きました。若い勉強中の画学生の絵ですが、どんなにか描き続けたかっという「将来すばらしい画家になったのでは」と思わせる胸に迫るような展示でした。そして、一人ひとりの人生を無残にも断絶してしまつた戦争への静かな怒りがわいてくるように感じました。

山形会場
7月14日(火)～20日(月)
山形美術館にて
講演会
7月18日(土)午後1時半

